

行ってきました。市川海老蔵主演7月大歌舞伎!

観てきました。4歳、史上最年少カンゲンくんの宙乗り!

6月22日に小林麻央さんが亡くなり、その直後の親子共演は世間の注目を大いに集め、連日の超満員、大向こうからの掛け声も冴え渡ります。

超入手困難のこのチケットは姉が通っているお茶の先生を通じてかなり早い時期から購入していたものでした。

元々7月の舞台は市川海老蔵さんと中村獅童さんの2枚看板で行う予定でしたが、獅童さんが急病のため降板が決定。人気役者の欠場で切符の売れ行きを心配した関係者は、歌舞伎筋のお茶の先生に協力を要請。長年お茶を習っている姉にもはじめて声がかかり、「7月歌舞伎行かない?お友達にも声をかけて」ということで姉を含め4人で出かけることになりました。

一方麻央さんの死によって改めて乳がんにメディアの関心が集まりました。自分の乳がんのことで以前対談した記事がキュレーションサイトで再び紹介され、週刊誌から麻央さんについて取材を受けました。

何だか歌舞伎が急に身近になった気がしました。

観劇の当日、東京は34度。その極暑の中で、

『真夏の歌舞伎観劇』

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

私たちは着物を着ていきました。

祖母や母から受け継いだ着物は全て姉が管理しています。昨年までの2年間、民間から某国の大使となった義兄の関係でこれらの着物は大活躍しました。「姉妹で行く、せっかくの機会だから単衣を着ましようよ」。姉の提案で、私は祖母の貝紫の袖に真っ白な博多織の名古屋帯、姉はグレーの縞に山吹色の丸帯でいざ出陣!!もちろん移動はマンションの地下駐車場から自ら運転し、友人宅にピックアップに行き、全員を乗せ、歌舞伎座の駐車場へ。じゃないと暑すぎて無理です。

さて注目の勸玄くんは20時過ぎに登場、その日一番のものすごい拍手です(パパの2倍はあります)。自分が人に期待され、喜ばれていることを4歳でもはつきりと認識できるものなのです。宙乗りでは眼下の客席に向かって、手を振る、声を出す、すごいサービス精神です。

麻央さんの死はとてつもなく悲しいことですが、麻央さんの残した次代の成田屋は役者としての一步を確実に踏み出していました。



「35歳からのダイエット革命」
(Discover21)
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。
学生時代よりコマースモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー(加齢学)」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。